



平成27年4月20日

各位

上場会社名 株式会社 ヤマダ電機  
 代表者 代表取締役社長 山田 昇  
 (コード番号 9831)  
 問合せ先責任者 経営企画室部長 山田 寿  
 (TEL 027-345-8181)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年2月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,692,000	32,000	41,000	17,700	22.23
今回修正予想(B)	1,664,000	19,900	35,000	9,000	11.30
増減額(B-A)	△28,000	△12,100	△6,000	△8,700	
増減率(%)	△1.7	△37.8	△14.6	△49.2	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	1,893,971	34,265	50,187	18,666	20.21

#### 修正の理由

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、平成26年4月1日以降の消費増税後の想定以上の反動減が発生。また、家電流通市場は、少子高齢化・人口減・ネット社会の浸透をはじめとした社会環境変化等の影響もあり、耐久消費財としての短期的な回復は見込めず、想定を超えた低迷が続いていることに加え、平成26年4月9日のWindows XPサポート終了に伴うパソコン本体の買い替え需要後の反動減が発生、梅雨明けの遅れや豪雨、台風等の自然災害による来店客数への影響、冷夏や暖冬による季節関連商品の伸び悩み等、様々な要因が重なり、売上高は予想を下回りました。このような状況の中、短期、中長期的視点で構造的各種経営改革に取り組んでまいりました。売上総利益率は前年から大きく改善したものの想定を若干下回り、販売費及び一般管理費率はほぼ想定通りに推移、平成27年度税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し等により法人税等が増加しました。以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ予想を下回る見込みとなりました。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上